

# 道徳教育

## (1) 目標

- ① 生命を尊び、生きることの喜びを感じとらせる。
- ② 集団の中の個人のあり方を自覚し、社会的責任感を身につけ、正しく判断でき実践していくける子どもを育てる。

## (2) 努力点

- 望ましい人間関係を大切にした学級づくりをする。
- 善悪の判断ができ、他人に動かされない主体性を育てる。
- 自分達の生活をよくするために、自ら問題に気づく子どもを育てる。
- 値値の内面化をはかり、実践力を高めるための授業を工夫する。
- 資料の充実と精選に努める。
- 心のノートを補助教材として活用する。

## (3) 道徳教育全体計画

### 教育目標

健康で、豊かな知性と感性を身につけ、心身共にたくましい子どもを育てる。

- ① 健康な子ども
- ② 思いやのある子ども
- ③ 自ら進んで取り組む子ども
- ④ しっかり考え合う子ども
- ⑤ よく働く子ども
- ⑥ なかよく助け合う子ども

地域の実態

(教師・保護者の願い)

児童の実態

### 道徳教育目標

- ① 生命を尊び、生きることの喜びを感じとらせる。
- ② 集団の中の個人のあり方を自覚し、社会的責任感を身につけ、正しく判断でき実践していくける子どもを育てる。

学年	学 年 目 標
第一学年	○明るく元気な子 ・元気よくあいさつができる。 ・友達となかよくする。
第二学年	○なかよく力を合わせる子 ・友達となかよくする。 ・たがいに助け合い力を合わす。
第三学年	○たすけ合う子 ・自分のことだけでなく、相手の立場にたって考える。 ・互いによいところを認め合う。
第四学年	○信頼し合う子 ・互いによいところを認め合い協力する。 ・相手の立場に立って行動する。
第五学年	○考え方子 ・自分の考えをしっかり持ち、相手の考えも尊重する。 ・勇気をもって正しい行動をする。 ・他人の身になって考え、あたたかく接する。
第六学年	○はげまし合い、人のために働く子 ・他人の気持ちがわかる。 ・正しい行動ができる。 ・労働の大切さがわかる。

### 特別活動

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、努力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

### 教科指導

日々を生き生きと輝かせ、自ら進んで学習に取り組み、やりとげる子どもを育てる。

総合的な学習の時間——  
体験学習などを通じて、各教科の学習で得た知識や経験を生かしながら、主体的・創造的に学習に取り組む子どもを育てる。

### 道徳の時間

読み物、視聴覚資料等を用いた授業を通して、道徳的判断力や道徳的心情を豊かにし、道徳的実践力を育てる。

## 本校における道徳教育

### 学校環境の充実

環境美化、掲示、図書の充実等を図り、落ち着いた、うるおいのある生活態度を育てる。

### 学級経営・生活指導の充実

基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、他を思いやる心を育てる。

### 家庭・地域との連携

家庭・地域社会と協力して、よりよい生活をしようとする子どもを育てる。